

NEWS RELEASE

韓国での画像計測機器事業の販売体制を強化 「HAMAMATSU PHOTONICS KOREA Co., Ltd.」を現地法人化

2020年3月19日
浜松ホトニクス株式会社
本社：浜松市中区砂山町 325-6
代表取締役社長：晝馬 明(ひるま あきら)

当社は、大韓民国（以下韓国）の販売代理店の機能を移転した新会社「HAMAMATSU PHOTONICS KOREA Co., Ltd. (ハママツ ホトニクス コリア)」の株式 55%を3月6日（金）付で取得し、現地法人化しました。韓国内の画像計測機器事業の販売体制を強化し、韓国の半導体メーカーなどの要求に応えることで、アジア地域でのさらなる売り上げ拡大を目指します。



韓国では 1990 年代以降、半導体産業が急成長してきました。現在、韓国の半導体メーカーは、半導体メモリ市場において高い世界シェアを占める一方、より付加価値が高いロジック半導体のシェア拡大に向け競争力の強化に取り組んでいます。今後、人工知能 (AI)、第 5 世代移動通信システム (5G) の本格的な普及やデータセンターへの設備投資の回復などにより、韓国の半導体メーカーのさらなる事業拡大が見込まれています。

当社はこれまで、韓国の半導体メーカーに向け、現地の販売代理店を通じ半導体メモリ向け故障解析装置をはじめとする画像計測機器を販売してきました。

今回、韓国の販売代理店である「MODOO TEK Co., Ltd. (モドゥテック、以下 MDT)」の販売やメンテナンス機能を移転した新会社を現地法人化し、半導体メーカーなどのニーズを直接把握し要求に応えることで、半導体メモリ向けに加え、ロジック半導体向け故障解析装置などの売り上げ拡大を目指します。また、次世代ディスプレイとして注目されているマイクロ LED の検査装置や半導体の製造工程向け計測装置などの画像計測機器の受注獲得を図ります。これにより、現在の MDT 経由の画像計測機器の売り上げを4年間で倍増し、現地法人の年間売上高を約 20 億円まで拡大することを目指します。また、中国や台湾の現地法人との連携により、アジア地域でのさらなる売り上げ拡大を図ります。

新会社は、当社による現地法人化を前提として、2019年12月30日（月）に設立されました。当社は、3月6日（金）付で新会社の株式 55%を取得し、今後、段階的に出資比率を引き上げていきます。また、現在は電子管製品や光半導体製品などを別の販売代理店経由で販売していますが、顧客要望に総合的に応えるため、将来的には現地法人を通じて販売することを検討していきます。さらに、顧客の要求に迅速に応えるため、現地で試作機を開発できる環境を整えます。

<現地法人概要>

英語社名：HAMAMATSU PHOTONICS KOREA Co., Ltd.

韓国語社名：하마마츠 포토닉스 코리아 주식회사

住所：A912, Tera Tower 1, 167, Songpa-daero, Songpa-gu, Seoul, 05855, Republic of Korea

設立：2019年12月30日（月）

※Yoo, Jae Hyung（ユウ ジャエ ヒュン、MDT 社長）氏により設立

資本金：11,700万韓国ウォン（約1,000万円）

出資比率：浜松ホトニクス株式会社 55%

Yoo, Jae Hyung 45%

役員構成：取締役会長 鳥山 尚史（浜松ホトニクス株式会社 取締役）

代表取締役 CEO Yoo, Jae Hyung

取締役 石塚 利道（浜松ホトニクス株式会社 従業員）

取締役 小出 政幸（浜松ホトニクス株式会社 従業員）

監査役 篠田 佳朗（浜松ホトニクス株式会社 従業員）

事業内容：画像計測機器の輸入販売、製造、製品保守サービス、技術サポート

従業員数：24名



現地法人が入るビルの外観

報道関係者には、写真をデータで提供しますので、広報室までお申し付けください。

この件に関するお問い合わせ先

■報道関係の方 浜松ホトニクス株式会社 広報室 野末迪隆

〒430-8587 浜松市中区砂山町 325-6 日本生命浜松駅前ビル

TEL053-452-2141 FAX053-456-7888 E-mail:nozue-m@hq.hpj.co.jp

時間外は、携帯電話 080-8262-0374 へお願いします